

# 授業改善プラン

地域名	東葛飾教育事務所	学校名	我孫子市立白山中学校
-----	----------	-----	------------

## 1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 「資料の活用」・「説明すること」の分野に課題がある。
- 「資料の傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する」ことに課題がある。

## 2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- ①自分の考えを筋道立て、根拠を明確にして説明したり表現したりする。
- ②「わかったこと」や「できたこと」を自分の言葉でまとめる等の活動。  
→ ①②より、生徒の「論理的思考力」が向上するだろう。

## 3. 具体的な実践

○五つの授業改善のポイント

- ① グループ隊形で「聞き合う関係」づくり
- ② 「？」で終わる学習課題で問題解決学習を見える化
- ③ 学習課題を見いだす「素材」の工夫
- ④ 自分の言葉でまとめることで、授業の理解度をメタ認知
- ⑤ より良い課題解決方法を探る毎時の「振り返りシート」

## 4. 成果

- 「振り返りシート」の実践を続け、「なぜ、自分が解けなかったのか」を自己分析するなど、自分自身の考えの変容に気付いたと答えている記述が多数見られた。
- 令和元年度末のアンケートでは、「分かったこと」を説明することで理解がより深まると感じている生徒が全体の9割以上であった。
- 令和2年度全国学力・学習調査の「資料の活用」の分野のポイントが向上していた。
- 令和元年度末アンケートでは、「授業改善を心掛けている」と答えた職員が98%であった。

### ◆担当指導主事から（東葛飾教育事務所 指導主事 林部 理絵）

本年度、特に重視したかった「生徒同士の質の高い話し合い活動」がコロナ対策により十分な機会を設けることはできなかったが、その分「振り返りシート」を充実させることで、生徒自身が自分の学びの変容に気づき、よりよい学習サイクルを構築することができた。また、数学科だけでなく、この「振り返り」活動は他教科においても同様に行うようになり、学校全体として授業改善に取り組むことができた。